

【安全登山講習会へ参加して】

梅雨入りしそうな空模様が続く曇天の6月5日。

飯能・天覧山～多峯主山にて開かれた安全登山講習会へ参加致しました。

飯能駅南口に集合し、受付～検温～手指の消毒をしている間に小雨が降りだして雨具をつけての出発となりましたが、登山口へ到着する前には運良く上がりました。

講師の埼玉県山岳・スポーツライミング協会、遭難対策委員長瀬藤武氏のとついで、登山口まで街中を歩く途中も気を緩める事は出来ません。曲がり角や途中の諏訪八幡神社などで、突然に現在位置・目的地迄の距離を確認するように指示が飛んで来るのです。

メジャーが無くて普段から指先の長さを把握しておくなど、山登り以外にも使える知恵を教授して下さいました。また、神社境内で目的地天覧山の方向を確認したりと、普段からの地図読み練習の大切さを感じました。

獣道の見分け方、ビバーク時のツェルトの張り方、三角巾や包帯方法、スプリントロール利用法...普段折り畳んだままのエマージェンシーシートを実際に広げてみたのは良い経験でした。

講師から幾度となく【リスク管理】や【最善の判断】というワードが発せられました。

常に非常事態を想定した準備をし、その場での最善の判断を下す...日頃から『安全登山』は始まっているのです。

この難しい状況下、講習会を開催して下さいた会スタッフの皆様に感謝したいと思います。コロナ禍、単独やビギナーの登山数は増えていると聞きます。まん防や宣言でイベントの中止が相次ぎますが、この様な時こそ安全登山講習会が意義を持つと感じました。

講師によるご指導もさることながら、講習を運営する『山の先輩方』の何気ない一言や体験談も大切な情報です。解散時に委員長より『本日が雨で無くてよかった。参加の皆さんが風邪を引いたら大変だから』とお言葉がありました。パーティーを思い遣る事も『安全登山』と、有り難く感じながら帰途につきました。

本村貴子

